



法務大臣からのメッセージ
を読み上げる熊谷会長

犯罪や非行撲滅に向けて

7月2日に追分地区で社会を明るくする運動のキャンペーンが行われ、苦小牧地区保護司会や安平町更生保護女性会などの皆さんが追分庁舎前に集合。苦小牧地区保護司会の熊谷哲会長が読み上げた法務大臣からのメッセージに対し瀧町長は「犯罪形態が多様化している中、社会が一体となって考えなければならない時代です。犯罪や非行のない明るい地域社会に向け行政

も取り組んでいく」と決意を述べました。セレモニー終了後、来町した方々は町内を巡回し、犯罪や非行の撲滅をマイクで呼びかけていました。

女性チーム初の全国大会出場

7月5日にむかわ町で開催された第24回日本ペタンク選手権北海道予選会で安平町ペタンク協会所属の今井悦子さん（早来大町）、舛田幸子さん（道南森町）、横谷裕美（洞爺湖町）の女性チームが準優勝し道代表として全国大会へのキップを獲得しました。安平町ペタンク協会（旧早来町ペタンク協会）は平成9年に設立して12年。これまで5年連続6回全国大会に男子が出ていますが、女性チームは初の全国大会出場です。10月24日・



左から今井悦子さん、横谷裕美さん、舛田幸子さん

25日に岡山県総社市で行われる大会に向けて3人は特訓中。「初めての全国大会なので緊張しないように頑張りたい」と話してくれました。



20年前の自分との対面

平成元年に開基100周年を迎えた旧早来町。その記念事業として早来地区の当時の小学生が思い出の品をカプセルに入れ封印し、ときわ公園にある記念碑の下に埋めました。

20年後となる今年、7月5日に開封セレモニーを開催。砂利を取り、コンクリートのふたを開けると学校ごとに分けられた封筒が出てきました。自分の作品を見つけた参加者からは喜びと歓声がわき

起こりました。

「将来は親の仕事を継ぐと書いたけれど、別の道に進んだ」と振り返る人。子供の代わりには作品を探す保護者の姿も見られました。「瑞穂小学校もあつたんですね」と当時を懐かしむ声も聞きました。20年前の自分からの手紙を受け取った参加者の表情は感慨深げで、久しぶりに再会した同級生との会話も盛り上がり、最後にビールやジュースで乾杯してお祝いしました。



安平川の壁面に手形を残す

7月11日、追分地区の安平川で「クリーン安平川の日」事業が行われ、約50人の町民が集まりました。河川敷のゴミ拾いや水質検査のほか、ヤマメの稚魚を放流。4年前から壁面に絵を描いていましたが、今年はペンキで白く塗った上に参加者の手形を押ししました。